

阪堺線の取組みについて

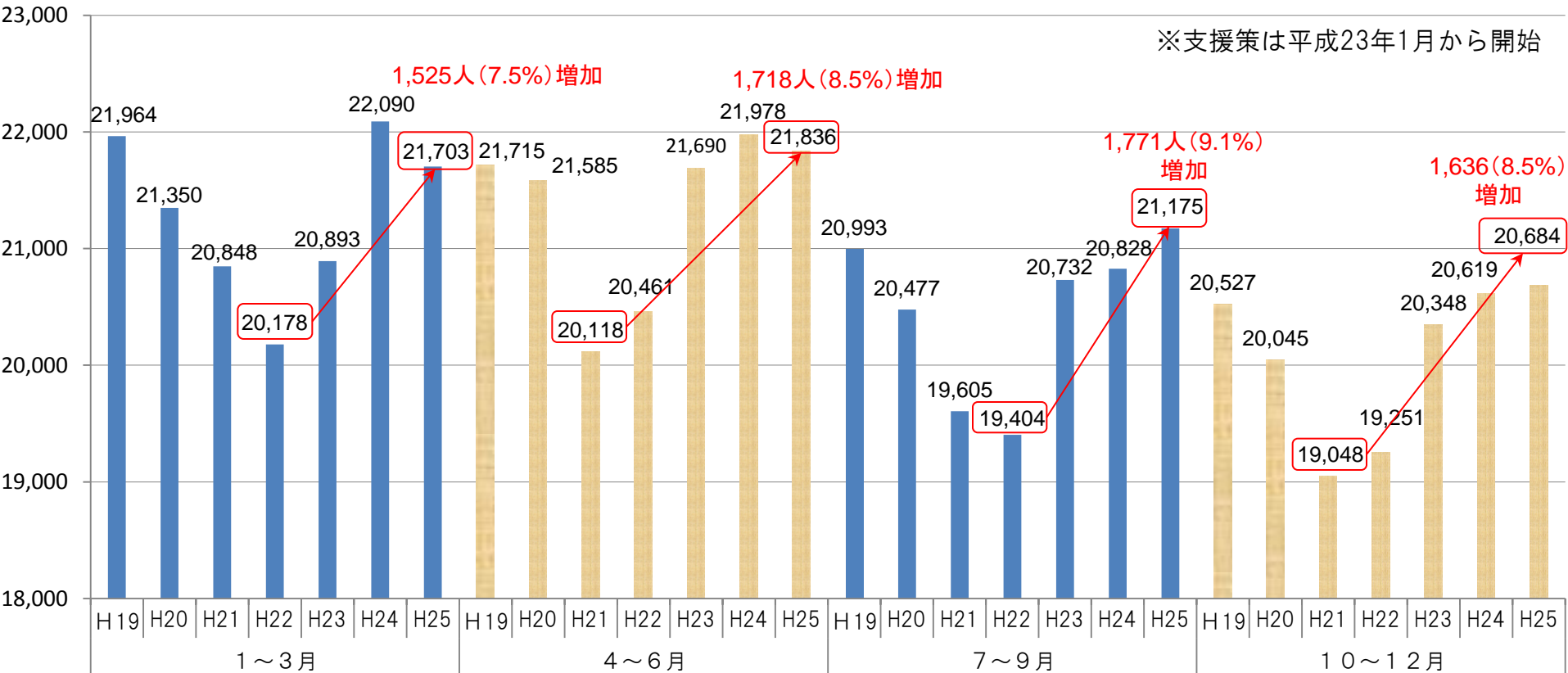
全路線（阪堺線、上町線）の利用者数について

・3ヶ月毎の平均利用者数を年別に見た場合、最も利用者数の少ない時に比べ、増加率が7.5～9.1%となっている。

(人/日)

利用者数の対前年同月比較（3ヶ月平均）

※支援策は平成23年1月から開始



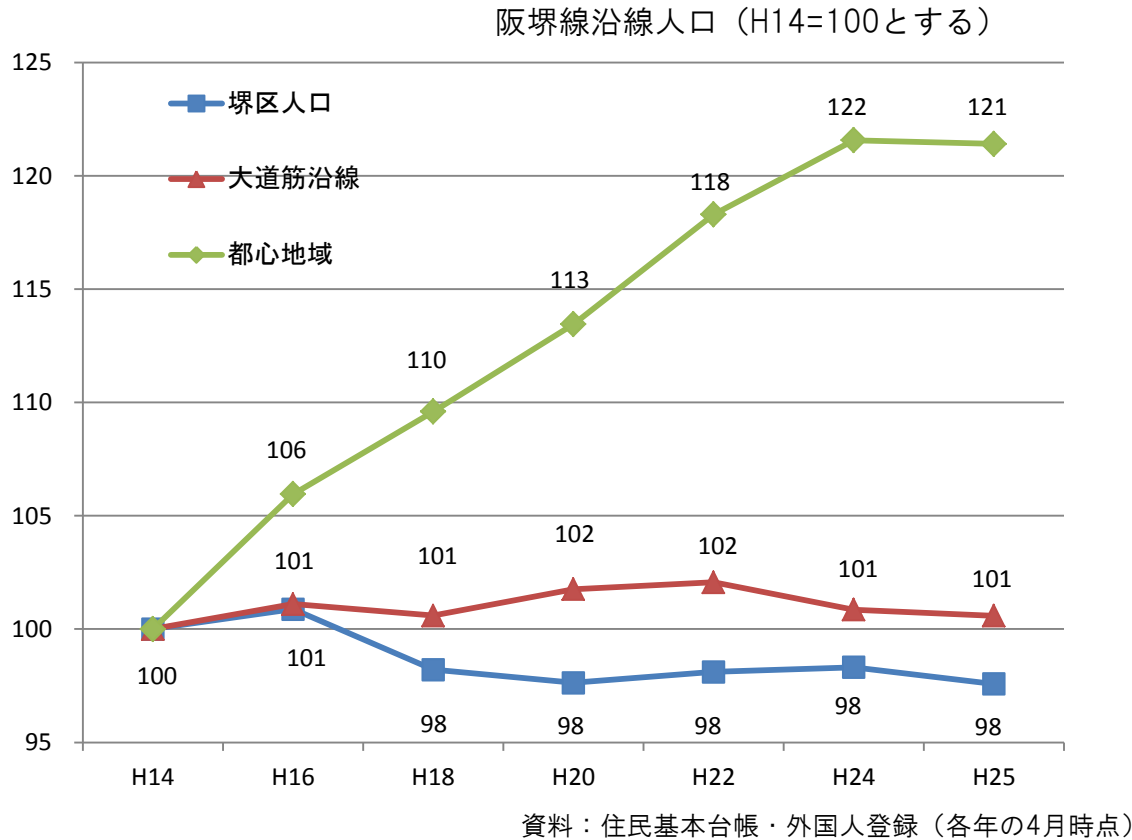
年間1日平均利用者数（1～12月平均）

	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年
1日平均利用者数	21,362	20,866	19,904	19,823	20,916	21,378	21,350
対前年の増減	-	-495	-962	-81	1,093	462	-28
対19年比	1	0.977	0.932	0.928	0.979	1.001	0.999

※支援策開始後

阪堺線沿線の人口について

■阪堺線沿線ではマンション建設も進んでいる。



※都心地域：堺東駅～堺駅、大和高田線～中央環状線内にある町を抽出
 大道筋沿線：綾ノ町停留場～御陵前停留場沿線の町を抽出

沿線マンション新築



宿院交差点



ザビエル公園南側

大道筋沿線施設について

■ 阪堺線沿線には特色のある施設が展開されつつある。



ボランティアで行っている堺観光の休憩所



紙雑貨をテーマにしたカフェ



古い町屋を改装したお茶をテーマにしたカフェ



堺区役所と連携してオープンカフェの社会実験を行っているカフェ

効果について①

ゾーンチケット「堺おもてなしチケット」に数多くの沿線施設（飲食店・ホテル・観光施設など）が参画され、自主的な割引を実施



回遊性の向上
沿線の活性化

高齢者割引により、高齢者利用が倍増、1区間利用者が2区間利用者と同程度増加



高齢者の身近な移動の支援
高齢者の外出促進

200円均一運賃化により、2区間利用者が平日4割、休日8割と大幅に増加



交流人口の増加

妙国寺停留場付近に自転車駐輪場、花田口停留場付近にバス停留所が設置



交通手段間の乗継利便の向上
回遊性の向上

大道筋沿いにマンションや店舗が新規に建設



沿線人口の増加
商業機能の充実

軌道敷の両側の植樹帯に四季折々の花々が飾られ、多くの方が撮影に訪れている



景観の向上
まちのイメージの向上

全国路面電車サミットが大阪・堺を会場に開催され、関連イベントも含めて全国より多数の方が来訪
大道筋をテーマとする市民ワークショップが開催



阪堺線を基軸とした沿線活性化の進展

